

## 平成 13 年度学長特別研究費 研究成果報告書

### 「ヘブライ語とユダヤ民俗研究」

文化政策学部 国際文化学科 助教授 鈴木元子

#### (研究の目的等)

1. 現代ヘブライ語の初級を修得する。
2. イスラエルにおいて、ユダヤ教の祝祭やフィールドツアー、シナゴークでの礼拝などに参加して、ユダヤの歴史、民俗、文化に触れる。
3. 海外からのアリヤー(帰還民)ユダヤ人に対するヘブライ語教育について、歴史が古く定評のある語学センター「ウルパン・アキヴァ」で実施されている語学教授法を実際に受けてみることを手始めに、さらに調査・研究を進めていく。

#### (研究の実施方法等)

私の専門であるユダヤ系アメリカ文学の研究には、その背景であるユダヤ文化に精通することが必要不可欠である。また、「言語は文化である」というように、文化に精通するためには、その言語が鍵となる。

そこで、今回の特別研究においては、ユダヤ民族の共通語であり、旧約聖書の前語、またイスラエルの公用語であるヘブライ語を学ぶことを中心に、そこからユダヤ文化全般に関心を広げて、研究していく。

1. ヘブライ語の通信講座を、まず修了する。
2. リンガフォン・ジャパンの「ヘブライ語」(カセットテープ版)を用いて、現代ヘブライ語の音声に慣れる。
3. イスラエルの地中海沿岸都市ネタニヤにある語学センター「ウルパン・アキヴァ」のヘブライ語集中講座(9月2日～25日コース)を受講し、研修する。イスラエルは世界中から帰還してくるユダヤ人移民を受け入れる語学プログラムが充実していることで知られている。その中でも、特にこの学校は、ユニークな教育法で各界から注目を集めている。1951年、建国の3年後に創立された学校で、この49年間に143カ国から8万人を超える人々が、ヘブライ語を学びにここを訪れている。日本式の英語教育とは大いに異なり、聞く、話す、といったオーラルの面を重視した教授法を採用している。
4. その間、課外授業として提供されているフィールドツアー、イスラエルの歴史や歌のレクチャー、祝祭日などの行事に参加することで、この地域、民俗に関する考察を深めていく。
5. 日本に帰国後、勉強したことをまとめ、さらに研究を深めて、論文へとまとめていく。
6. ヘブライ語やユダヤ文化に関する書物等を購入し、研究室や図書館に配架する。
7. イスラエル関係の学会、研究会等に積極的に出席し、また機会が許されれば、学会の例会で口頭発表したり、学会誌に論文を発表して、今後の研究活動に繋げていく。

#### (海外出張報告)

- ① エルサレムで視察・調査(エルサレム・イスラエル博物館、ヤド・バシエム・ホロコースト

記念館等)

- ② ヘブライ語語学センター(Ulpan Akiva)の初級コースに入学して、「ヘブライ語」「ユダヤの研究・聖書の研究」「イスラエル地理・歴史」「フィールドワーク」「イスラエル民俗・文化」の研修（総計 168 授業時間）
- ③ その間、モシェブ・ミシュメレット見学、ネタニヤ・ダイヤモンド・センター見学、エイン・ケレン見学、ハダサ・ホスピタル見学、嘆きの壁地下トンネル見学、ワイン製造農園等見学、テルアビブの劇場で観劇、ユダヤ新年の祝いやシャバットの集いに参加
- ④ 最終試験に合格。卒業証書と単位認定書(アメリカの大学で単位交換可)を授与される。(※添付資料参照)
- ⑤ ヨム・キプールの街並みを視察見学

(得られた成果等)

1. 紀要論文：

- ① 「日本人英語教師のウルバン体験」  
『ユダヤ・イスラエル研究』(第19号)  
日本イスラエル文化研究会（平成15年3月発行予定）
- ② 「初級ヘブライ語から漂うユダヤ文化の香り」  
『言語文化研究』(第2号) 静岡言語文化学会（平成15年3月発行予定）
- ③ 「イスラエル見聞記」  
『言語文化研究』(第2号) 静岡言語文化学会（平成15年3月発行予定）

2. 学会等での口頭発表：

- ① 「イスラエルのヘブライ語学校ウルバン事情」  
日本イスラエル文化研究会 関西研究例会  
平成14年12月7日、於：同志社女子大学

3. その他：

- ① エッセイ: 「イスラエルで過ごした体験」『みるとす』(第62号、47頁)  
株式会社 ミルトス（平成14年6月発行）
- ② 共著: 『アメリカ文化入門』萌書房（平成15年3月発行予定）  
担当箇所: 13章「アメリカの宗教」※ユダヤ教についても執筆

4. ウルバン・アキヴァのヘブライ語初級コース(A組)の修了証書と、アメリカの大学等で単位認定が受けられる単位認定書を授与される。(※ 添付資料参照)

5. 書物を購入したり、資料を収集して、参考文献を大幅に増やすことができた。



אולפן עקיבא נתניה  
מרכז ללימוד השפה העברית  
תרבות ישראל וידע הארץ



מדינת ישראל  
משרד החינוך  
האגף לחינוך מבוגרים

# אי שור

מ"ת / מסלול מוסקו

ת"ז / זרנון TF3832039

למד/ה ב אולפן עקיבא

בקורס צרכי כיתה מתחילת

מ- 2.09.01 עד 25.09.01

סה"כ 168 שעות לימוד

אסתר מילר  
מנכ"ל

מנכ"ל האולפן

ד"ר יעקב גולד  
המורה

נתניה, יום ח' בחודש אש"כ תש"י 80

מס' תלמיד: 67366



# ULPAN AKIVA

1951-2001

INTERNATIONAL HEBREW STUDY CENTRE

מרכז ללימוד שפות, תרבות ישראל וידע הארץ



25<sup>th</sup> September, 2001.

TO WHOM IT MAY CONCERN

## MOTOKO SUZUKI - HEBREW COURSE

This is to certify that MOTOKA SUZUKI attended a 3.5 week intensive Hebrew course, as a live-in student, from 2<sup>nd</sup> September through 25<sup>th</sup> September 2001, at Ulpan Akiva and after achieving a grade of 90% in the final examination, was presented with a Diploma by the Department of Education of the Israel Ministry of Education and Culture.

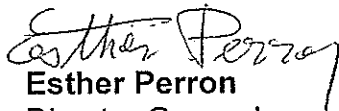
The program includes:

- Hebrew Language studies
- Hebrew Language workshop
- Jewish and Bible studies
- Geography and History of Israel
- Field work (trips to Biblical, Archaeological and Historical sites)
- Israeli Folklore and Cultural Activities

168 study hours

We have been informed that the following Universities and Colleges, as well as others, grant credit for our courses : Cornell University, New York University; Queens College; College of Jewish Studies, Cleveland; Rutgers University; University of Tennessee; Gratz Hebrew College; Baltimore Hebrew College; George Washington University; Brandeis University, University of Utah, U.C. Santa Barbara, U.C. Los Angeles, The Lawrenceville Prep School - New Jersey and Dawson College, Canada.

Yours sincerely,

  
Esther Perron  
Director General